

国家戦略としての医療イノベーション

2013年3月18日

内閣官房 健康・医療戦略室 次長

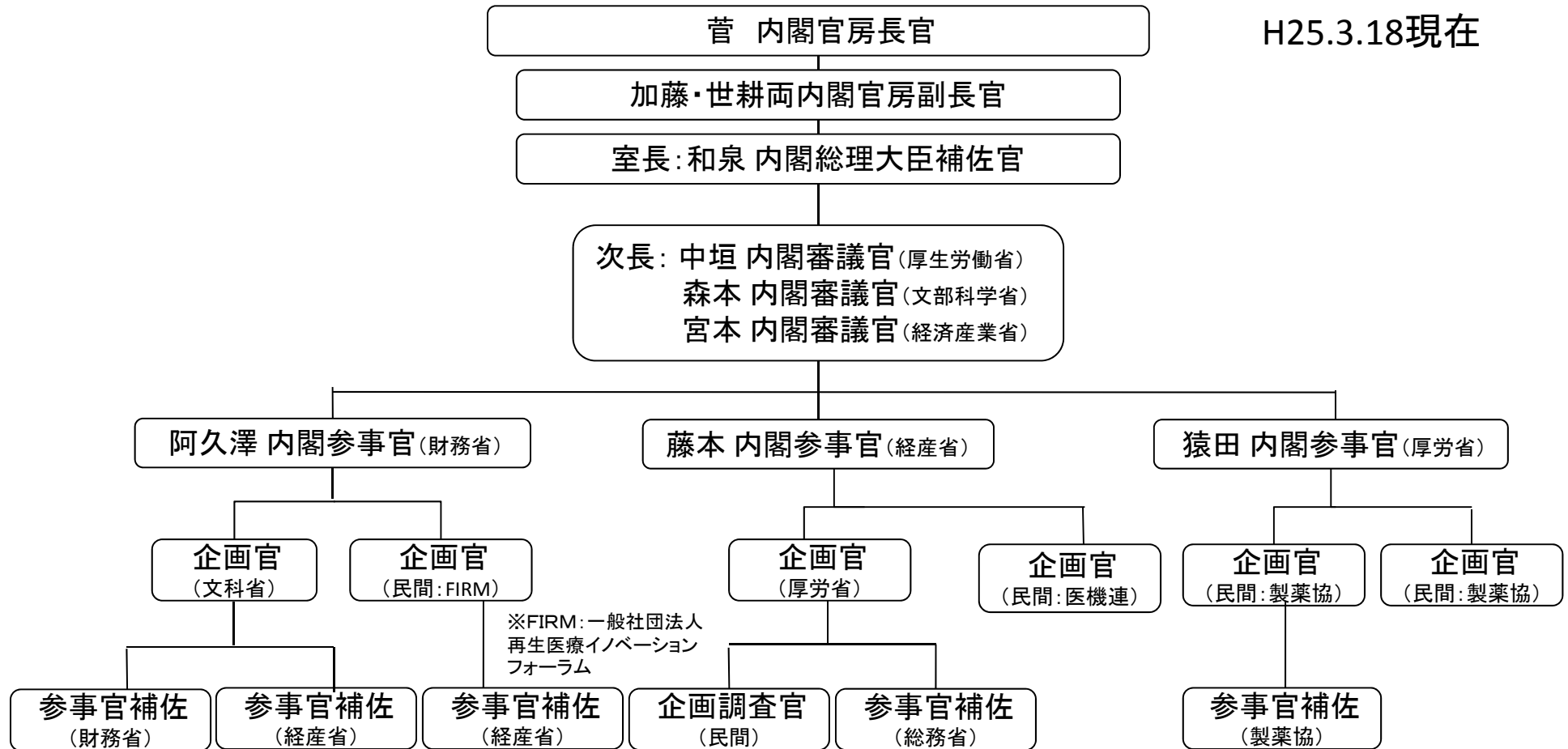
中垣 英明

健康・医療戦略室の設置について

政府は、成長戦略の実現に向けて、一体となって取り組むに当たって、我が国が世界最先端の医療技術・サービスを実現し、健康寿命世界一を達成すると同時に、それにより医療、医薬品、医療機器を戦略産業として育成し、日本経済再生の柱とすることを目指すため、本年2月22日、「健康・医療戦略室」を内閣官房に設置。

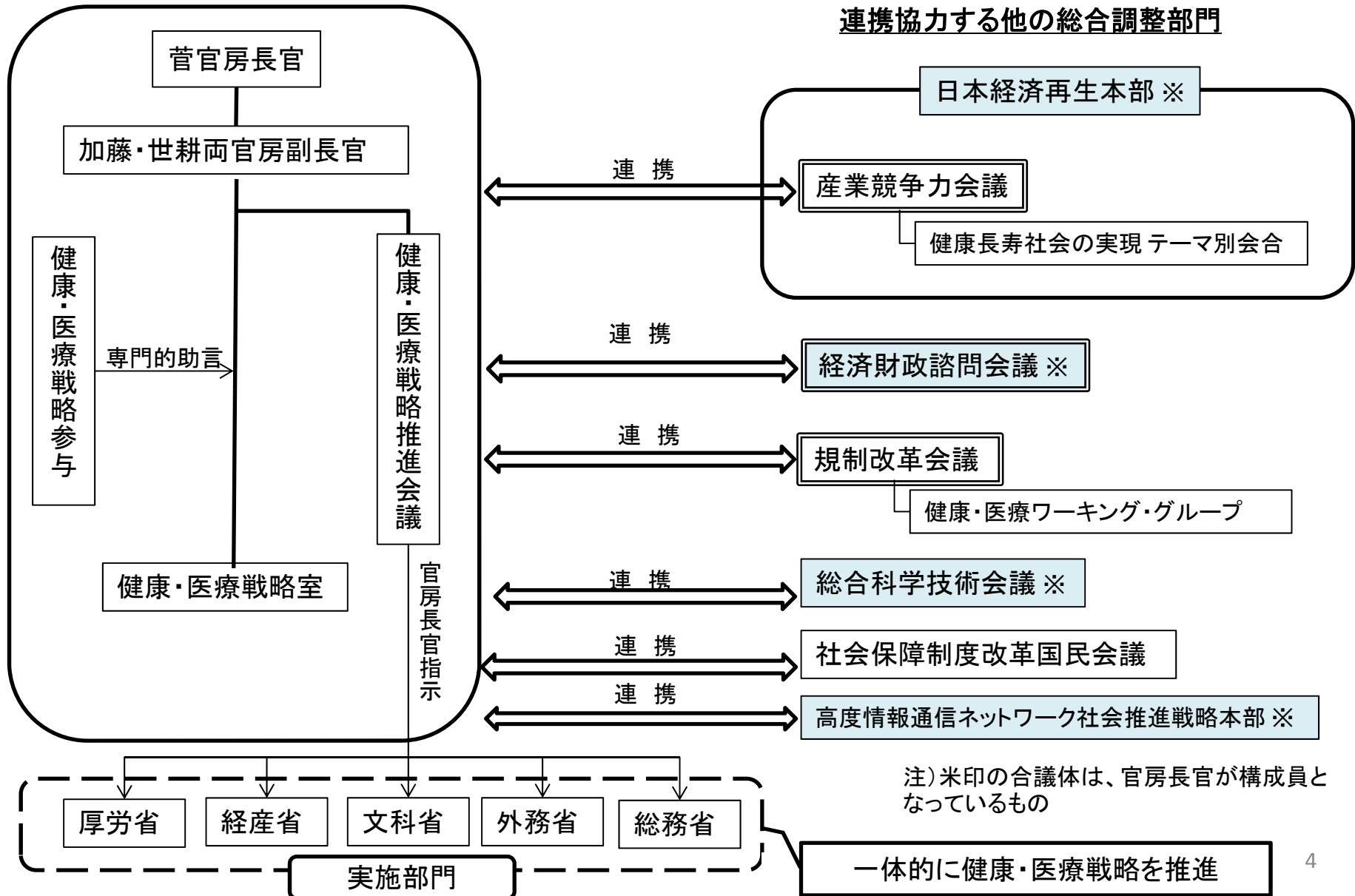
健康・医療戦略室体制図

H25.3.18現在

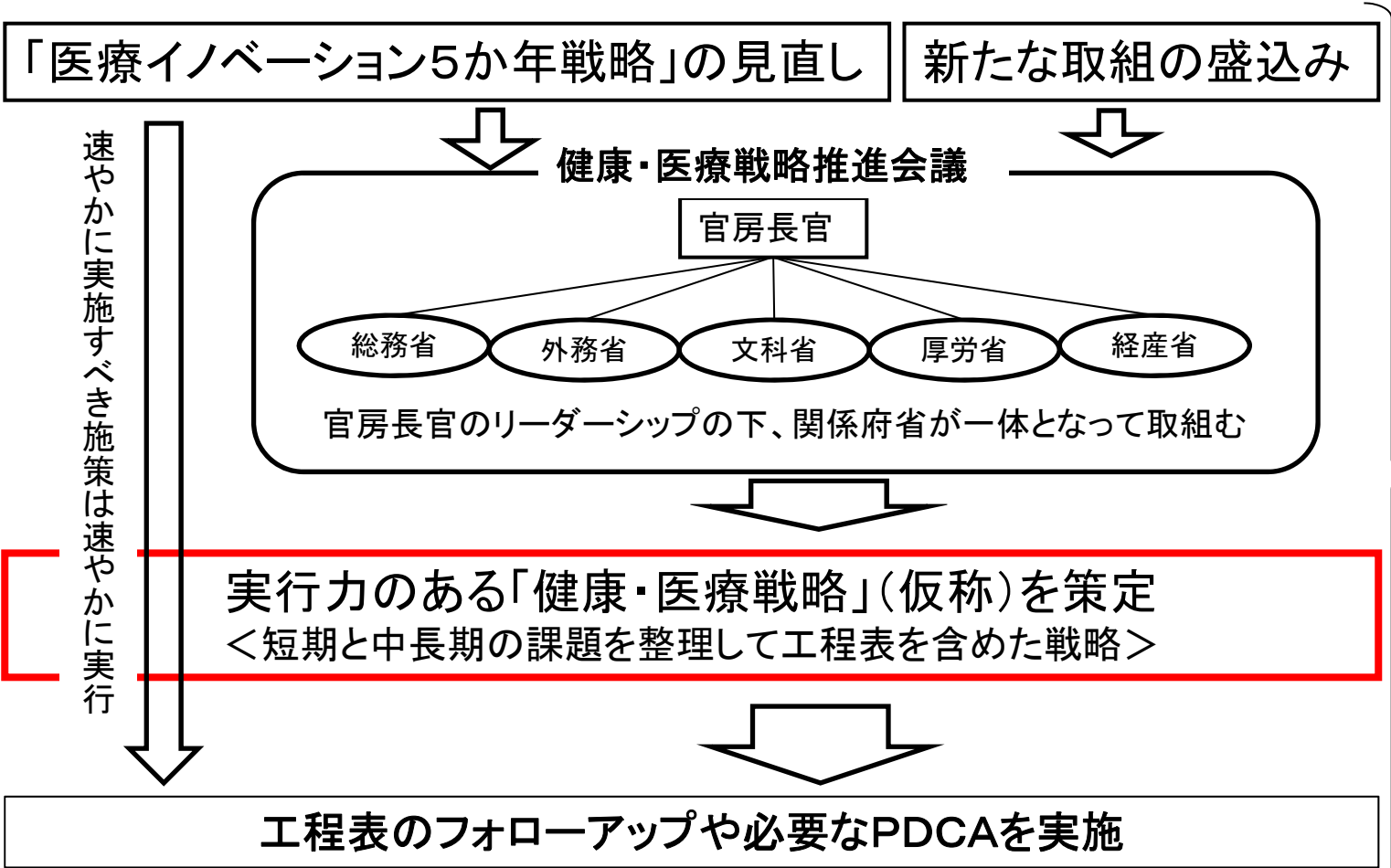


菅内閣官房長官の直轄組織として、和泉内閣総理大臣補佐官を室長に、厚生労働省、文部科学省、経済産業省の審議官級の者を次長とする府省横断型の強力な実施体制

健康・医療戦略室と他部門との連携体制



当面の健康・医療戦略室の業務



健康・医療戦略参与

専門的助言

健康・医療戦略参与

- 荻野 和郎 日本医療機器産業連合会 会長
- 黒岩 祐治 神奈川県知事
- 近藤 達也 医薬品医療機器総合機構 理事長
- 丹呉 泰健 内閣官房参与
- 手代木 功 日本製薬工業協会 会長
- 戸田 雄三 再生医療イノベーションフォーラム 代表理事・会長
- 堀田 知光 国立がん研究センター 理事長
- 松本洋一郎 東京大学大学院工学研究科教授(元医療イノベーション推進室長)
- 水野 弘道 京都大学iPS細胞研究所特任教授
近畿大学国際経済研究所客員教授
- 森下 竜一 大阪大学大学院医学系研究科教授
- 山本 修三 一般社団法人 日本病院会 名誉会長
(株式会社 日本病院共済会 代表取締役)

健康・医療戦略(仮称)の基本的理念

- ・社会保障と財政の持続可能性を確保する中で、健康長寿社会を実現し、活力ある社会を構築する。
- ・課題解決先進国として、超高齢化社会を乗り越える姿を世界に広げる。
- ・医療関連産業を活性化し、我が国経済の成長に寄与する。

健康・医療戦略(仮称)の充実に向けて

<検討項目として考えられる事項>

- ① 医薬品・医療機器の開発・実用化と再生医療等の最先端の医療の実現の更なる促進
- ② 新製品・サービスの事業化支援
- ③ 次世代医療等に対応した規制・ルールの構築
- ④ 医療サービスの海外展開の推進
- ⑤ 効果的な予防法の確立・健康寿命伸長産業の創出
- ⑥ 医療・介護分野におけるIT技術の活用